第5学年1・2・4組外国語科学習指導案

町田市立　小山小学校
2026年11月13日（金）5時間目
対象　第5学年1・2・4組　各28名
指導者　指導教諭　島谷　賢吾
主任教諭　藤田　恵未
教　諭　松下　龍馬

1　単元名「Lesson5　She can bake cookies.（CROWN Jr.）」

2　単元の目標

・他者の職業やできること、得意なことを伝える表現の意味や働きを理解し、それらの語句や表現を正しく用いて伝えることができる。（知識及び技能）
・紹介したい人のことを相手に知ってもらうために、その人ができることや得意なことについて、工夫して伝えている。（思考力,判断力,表現力等）
・紹介したい人のことを知ってもらうために、伝えたい内容に合わせて語句や表現を自分で選びながら意欲的に練習を進め、スピーチを完成させようとする。（学びに向かう力,人間性等）

3　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①　他者の職業・できること・得意なことを伝える表現の意味や働きを理解している。 ②　他者の職業・できること・得意なことについて、語句や表現を正しく用いて伝えることができる。	①　紹介したい人のことを知ってもらうために、その人ができることや得意なことについて伝えている。	①　紹介したい人のことを知ってもらうために、その人ができることや得意なことについて伝えようとしている。 ②　伝えたい内容に合わせて、語句や表現を自分で選びながら練習を進め、スピーチを完成させようとしている。

4　単元構想

（1）児童について（児童観）

本学年の児童は、これまでの外国語科の学習において、簡単な表現を使って自分のことや身の回りのことについて伝える活動を経験してきた。外国語でのコミュニケーションに対して前向きで、体を動かしたりゲーム感覚を楽しんだりしながら表現しようとする姿がみられる。

一方で、まとまった英語のスピーチを行ったり、自分の考えに理由を付け加えて説明をしたりすることには、やや不安や戸惑いを感じる児童もいる。本単元では、さまざまな職業の人のできることや得意なことに関する表現に触れ、児童自身が主体的に紹介したい人物を選択できるようにした。共通の表現や語句を使いながらも、自分が選んだ対象について発信し合う活動を通して、友達と伝え合う楽しさを実感し、英語で表現することへの意欲と自信を高めていきたいと考えている。

（2）教材について（学習材観）

本単元は、児童にとって身近な職業を表す語句や、「He / She can ～.」「He / She is good at ～.」を用いて、その人ができることや得意なことについて伝え合う表現に慣れ親しむ教材である。

身近な職業の人ができることや得意なことを尋ねたり答えたり、紹介したりすることは、児童の視野を広げ、社会とのつながりを感じさせるうえで非常に親しみやすく実用性の高い言語材料である。また、本単元では「無人島に一人連れていくならどの職業の人がよいか」という文脈の中でスピーチを行う設定を取り入れている。

本単元の学習は、単なる語彙や「can」「be good at」の文法・フレーズの定着にとどまらず、理由を添えて人物を紹介し合う活動を通して、コミュニケーションの楽しさや他者への理解を深めるうえで極めて効果的な教材である。

（3）単元について（単元観）

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年3月告示）、第2部　外国語　第2章　第2節　英語、

1　目標

（4）話すこと［発表］

イ　自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

本単元では、「He / She can ～.」「He / She is good at ～.」などの表現を用いて、さまざまな職業の人のできることや得意なことについて聞き取ったり、友達に伝えたりする言語活動を行う。

紹介する時に、趣味や得意なことなど、伝える事項が複数あるとき、伝えたいことを整理して話すことができるようにすることが大切になってくる。聞き手に分かりやすく伝わるように複数あるものの順番を決めたり、選んだりすることに気を付けて発表を行えるように指導していく。

5　研究主題に迫るための手だて

【自己理解】

① ゴールを見通した TBL（タスク・ベースド・ラーニング）を展開する工夫

・単元導入でゴールのモデルを示す TBL（タスク・ベースド・ラーニング）を取り入れ、毎時間の学習が最終ゴールにどうつながるかを児童が意識できるようにする。「今日できたこと」や「次回挑戦したいこと」を振り返り、児童が自身の学びの現在地と成長を自覚できるようにする。

② 自分の判断とその理由を言語化したスピーチの工夫

・「なぜ自分はその人を選ぶのか」を「He/She can ～」「He/She is good at ～」という既習表現に落とし込んで整理させることで、感覚的な選択を言語化して捉え直し、「自分はこう考えている」という思考を明確にできるようにする。

【他者受容】

① 「結果」だけでなく「選択の背景」に耳を傾けたくなるような課題設定の工夫

・単に「誰を選んだか」という表面的な違ではなく、「なぜその人を選んだのか」という理由を聴き合うことで、相手のものの見方や大切にしている気持ちを知ることができる課題設定を行う。「無人島に誰を連れていくか」という正解のないテーマに対する友達の考えを聞き、多様な考えを尊重する姿勢（他者受容）につなげる。

6 単元の指導計画と評価計画（全7時間）

時	学習活動	指導上の留意点	・評価規準 ○方法
1 本時 2組	○学習の見通しをもつ。 【Greeting】挨拶をする。 【Small talk】ジョン万次郎の遭難の話 【Unit Goal】 無人島に一緒に行きたい人を紹介しよう。 【Let's listen】 無人島に一緒に行くとしたらどんな人が良いか教員がスピーチのモデルを示す。 【Today's Goal】 学習計画を立て、職業の英語を知ろう。 【Activity 1】学習計画を立てる 【Activity 2】 職業の単語に慣れ親しむゲーム 【Looking Back】振り返りカードを書く。	・本時の学習内容や英語表現のイメージをもてるようにする。 ・児童の発言や課題意識を吸い上げ、児童と共有しながら単元計画を作成する。	※目標に向かって指導を行うが、評価の記録は次時と合わせて行う。
2 本時 1組	○職業に関する表現に慣れ親しむ 【Greeting】挨拶をする。 【Warming up】職業の歌・チャンツ 【Today's Goal】 無人島に一緒に行きたい職業を考えよう。 【Activity 1】 職業の単語に慣れ親しむゲーム 【Activity 2】 班で話し合い、職業をそれぞれ決めて書く。 【Looking Back】振り返りカードを書く。	・職業の言い方に慣れ親しめるよう、歌やチャンツを活用する。	・他者の職業・できること・得意なことを伝える表現の意味や働きを理解している。 ○行動観察
3 本時 4組	○他者のできることを伝えられるようになる 【Greeting】挨拶をする。 【Warming up】職業の歌・チャンツ 【Small talk】 無人島話（できることについて） 【Today's Goal】 無人島に一緒に行きたい人のできることを考えよう。 【Activity 1】 できることの言い方に慣れ親しむゲーム 【Activity 2】 班で話し合い、できることを決めて書く。 【Looking Back】振り返りカードを書く。	・やりとりの中で、リピート練習や学級児童全員で質問する場面を入れることで、英語表現に慣れ親しめるようにする。 ・前時で決めた職業について、無人島で役立ちそうな「できること」を考えて書けるように指導する。	・他者の職業・できること・得意なことについて、語句や表現を正しく用いて伝えることができている。 ○行動観察

4	○得意なことを伝える表現に慣れ親しむ 【Greeting】挨拶をする。 【Warming up】職業の歌・チャンツ 【Small talk】無人島話（得意なことについて） 【Today's Goal】 無人島に一緒に行きたい人の得意なことを考えよう。 【Activity 1】得意なことの言い方に慣れ親しむゲーム 【Looking Back】振り返りカードを書く。 【Closing】挨拶をする。	・やりとりの中で、リピート練習や学級児童全員で質問する場面を入れ、英語表現に慣れ親しめるようにする。	・他者の職業・できること・得意なことを伝える表現の意味や働きを理解している。 ○行動観察
5	○得意なことを伝える表現を使えるようになる 【Greeting】挨拶をする。 【Warming up】職業の歌・チャンツ 【Small talk】無人島話（得意なことについて） 【Today's Goal】 無人島に一緒に行きたい人の得意なことを考えよう。 【Activity 1】得意なことの言い方に慣れ親しむゲーム 【Looking Back】振り返りカードを書く。	・自分の決めた職業の人物について、無人島で役立ちそうな「得意なこと」を考えて書けるように指導する。	・他者の職業・できること・得意なことについて、語句や表現を正しく用いて伝えることができている。 ○行動観察 ○ワークシート
6	○スピーチの文を作り、グループごとに練習をする 【Greeting】挨拶をする。 【Warming up】職業の歌・チャンツ 【Today's Goal】 無人島に一緒に行きたい人の紹介スピーチを作ろう。 【Activity 1】班で話し合い、紹介文を書く。 【Activity 2】紹介スピーチの練習 【Looking Back】振り返りカードを書く。	・無人島に一緒に行きたい人の紹介スピーチの台本を、本時までに学習した英語表現を使って書けるように指導する。	・伝えたい内容に合わせて、語句や表現を自分で選びながら練習を進め、スピーチを完成させようとしている。 ○行動観察
7	○グループごとにスピーチを発表する 【Greeting】挨拶をする。 【Today's Goal】無人島に一緒に行きたい人の紹介スピーチをしよう。 【Activity 1】紹介スピーチをする。 【Looking Back】振り返りカードを書く。 【Closing】挨拶をする。		・紹介したい人のことを知ってもらうために、その人ができることや得意なことについて伝えようとしている。 ○スピーチ

7 本時の学習（1／7時間） 2 組

時間	学習活動	・指導上の留意点 ○評価（評価方法）
導入 10 分	【Greeting】 ・挨拶をする。 【Small talk】 ・ジョン万次郎の遭難の話を聞く。	・ICT で視覚資料を示しながら話し、児童が興味をもてるようにする。
展開 30分	【Unit Goal】 無人島サバイバル！ 一緒に行きたい最高の相棒を紹介しよう。 【Let's listen】 ・無人島に一緒に行くとしたらどんな人が良いか、教員のスピーチモデルを見て考える。 【Today's Goal】 学習計画を立て、職業の英語を知ろう。 【Activity 1】 ・学習計画を立てる 【Activity 2】 ・職業の単語に慣れ親しむゲームをする。	・本時の学習内容や英語表現を使ってイメージをもたせる。 ○目標に向かって指導を行うが、評価の記録は次時と合わせて行う。 ・児童の発言や課題意識を吸い上げ、児童と共有しながら単元計画を作成する。
まとめ 5分	【Looking Back】 自 ・振り返りカードを書く。 【Closing】 ・挨拶をする。	自己理解① ・毎時間の学習が最終ゴールにどうつながるかを児童が意識できるような振り返りカードの書き方や書く視点を伝え、児童が次時のめあてをもてるようにする。

本時の学習（2/7 時間） 1 組

時間	学習活動	・指導上の留意点　○評価（評価方法）
導入 5分	【Greeting】 ・挨拶をする。 【Warming up】 ・歌を歌う。 ・誰でしょうクイズをする。	・本時の学習内容や英語表現を使ってイメージをもたせる。
展開 35分	【Today's Goal】 無人島に連れていきたい職業の人を考えよう。 【Activity 1】 ・職業の単語に慣れ親しむゲームをする。 「無人島に一人連れていくなら誰？」	・前時で立てた学習計画を振り返り、単元のゴールと本時のゴールを再確認し、共通認識を図る。 ・自分が一人連れて行くとしたらどの職業の人が良いかお互いに伝え合うことで職業の言い方に慣れ親しむとともに、クラスとして一人連れていく職業の人を選べるようにする。

	【Activity 2】他 Activity 1 で多かった職業以外で、どの職業の人をグループとして連れていくか決める。	他者受容① ・「無人島に誰を連れていくか」という正解のないテーマに対する友達の考えを聞き、多様な考えを尊重する姿勢につなげる。 〇他者の職業を伝える表現の意味や働きを理解している。（行動観察）
まとめ 5分	【Looking Back】 自 ・振り返りカードを書く。 【Closing】 ・挨拶をする。	自己理解① ・毎時間の学習が最終ゴールにどうつながるかを児童が意識できるような振り返りカードの書き方や書く視点を伝え、児童が次時のめあてをもてるようにする。

本時の学習（3/7 時間） 4組

時間	学習活動	・指導上の留意点　〇評価（評価方法）
導入 10 分	【Greeting】挨拶をする。 【Warming up】職業の歌・チャンツを歌う。	・本時の学習内容や英語表現を使ってイメージをもてるようにする。
展開 30 分	【Small talk】無人島に連れていける人が できることについての話を聞く。 【Today's Goal】 無人島に一緒に行きたい人のできることを考えよう。 【Activity 1】できることの言い方に慣れ親しむゲームをする。 【Activity 2】班で話し合い、できることを決めて書く。 他	・ICT でイラスト等を活用して児童がイメージをもちやすいようにする。 ・児童とのやりとりの中で、リピート練習や学級児童全員で質問する場面を入れ、英語表現に慣れ親しませる。 ・前時で決めた職業について、無人島で役立ちそうな「できること」を考えて書けるよう指導する。 他者受容① ・「無人島に誰を連れていくか」という正解のないテーマに対する友達の考えを聞き、多様な考えを尊重する姿勢につなげる。 〇他者の職業・できること・得意なことについて、語句や表現を正しく用いて伝えることができている。（行動観察）
まとめ 5分	【Looking Back】 自 ・振り返りカードを書く。 【Closing】 ・挨拶をする。	自己理解① ・毎時間の学習が最終ゴールにどうつながるかを児童が意識できるような振り返りカードの書き方や書く視点を伝え、児童が次時のめあてをもてるようにする。